TECRA

テクラウド
TECROWD

2026年4月期決算説明資料

2026.8.31

TECRA株式会社

AGENDA

目次

テクラウド TECROWD

01 事業概要

1. 会社概要
2. 役員紹介

02 業績ハイライト

1. 売上高および営業利益の分析
2. 貸借対照表について

03 事業戦略

1. 2026年4月期の振り返り（調達）
2. 代表的なファンドの紹介（調達）
3. 2026年4月期の振り返り（償還）
4. 代表的なファンドの紹介（償還）

代表挨拶

©TECRA

01

INTRODUCTION

事業概要

CORPORATE

会社概要

会社名	TECRA株式会社
所在	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA4F
資本金	156,600,000円
保有許認可	不動産特定共同事業許可　神奈川県知事　第12号 宅地建物取引業者免許　神奈川県知事（4）26122号
沿革	2004/11　設立 2006/09　宅建業者登録 2009/07　一般建設業許可取得（2024年4月に廃業済） 2020/08　不動産特定共同事業許可取得 2021/04　不動産クラウドファンディング「TECROWD」リリース 2024/09　TECROWDの累計調達金額が、300億円を突破 2025/04　TECROWDの累計調達金額が、400億円を突破 2025/08　TECROWDの累計償還金額が、200億円を突破 2025/10　TECROWDの累計調達金額が、500億円を突破 2026/08　TECROWDの累計調達金額が、700億円を突破

©TECRA

CORPORATE

役員紹介

代表取締役社長

新野 博信

1968年生まれ。早稲田大学法学部卒業。

大学卒業後約24年間、オリックス株式会社にて、
不動産ファイナンス、ファイナンスリース、
金融商品の販売等に従事。

その後、大手SPAチェーンにてBtoC営業等に携わった後、東証一部上場の不動産デベロッパーにて、不動産特定共同事業の許認可取得、貸金業の許認可取得および実務立ち上げにあたる。

2021年3月にTECRA株式会社に入社、
同4月に取締役に就任。

2024年4月に同社代表取締役社長に就任（現任）。

宅地建物取引士、貸金業務取扱主任者。

社外取締役

高橋 義人

1959年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。

大手信託銀行および信託会社にて、人事、国際、資産管理、信託会社設立といった幅広い業務に長年携わる。

1982年4月　東洋信託銀行（現 三菱UFJ信託銀行）株式会社入社
2004年12月 住友信託銀行（現 三井住友信託銀行）株式会社入社
2011年5月　日本トラスティ・サービス信託銀行
（現 日本カストディ銀行）株式会社
執行役員投資信託部長（出向）
2012年4月　同社 執行役員投資信託部長（転籍）
2019年4月　株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
新規事業開発部長
2021年12月 JIA信託株式会社 代表取締役 就任
2024年1月　同社 代表取締役 退任
2024年2月　同社 顧問
2024年7月　株式会社サクラパートナーズ監査役（現任）
2025年7月　TECRA株式会社取締役就任（現任）

不動産鑑定士二次試験合格、宅地建物取引士。

社外監査役

金子 真一

1969年生まれ。広島大学経済学部卒業。

大学卒業後、大手信託銀行の経理部門にて25年間にわたり
決算・開示業務および税務業務に従事。

1992年4月　東洋信託銀行（現 三菱UFJ信託銀行）株式会社　入社
2002年12月　住友信託銀行（現 三井住友信託銀行）株式会社　入社
2019年10月　税理士登録し、金子真一税理士事務所を開業（現任）
2020年1月　合同会社ピナクル・コンサルティング代表社員（現任）
2025年7月　TECRA株式会社監査役就任（現任）

税理士。

©TECRA

02

FINANCIAL HIGHLIGHTS

業績ハイライト

PROFIT & LOSS

売上高および営業利益の分析

(単位：千円)	2025年 4月期	2026年 4月期	増減率
売上高	7,764,605	12,306,867	58.50%
売上総利益	2,089,037	4,626,186	121.45%
販管費	1,636,676	4,275,915	161.26%
匿名組合 損益分配額	1,162,632	2,931,645	152.16%
減価償却費	88,660	244,341	175.59%
その他	385,382	1,099,927	185.41%
営業利益	452,361	350,271	-22.57%
経常利益	437,829	456,816	4.34%
当期純利益	372,470	299,261	-19.65%

ポイント

- 2026年4月期は、決算期変更に伴い前期の変則決算（6か月間）から通常の12か月決算へ移行したことに加え、複数のキャピタルゲイン型ファンドにおいて物件売却を実施したこと等により、**売上高は前期比58.5%増と大きく伸長しました。**

- 利益面では、投資家様への利益分配（匿名組合損益分配額）や大型インカムゲイン型ファンドの物件取得に伴う減価償却費の増加により、**営業利益は前期を下回る水準**となりました。一方で、営業外利益が増加したことにより、**経常利益は前期を上回る結果**となりました。
また、前期に計上していた投資有価証券売却益（特別利益）が当期は大きく減少したことから、**当期純利益は前期比19.65%減**となりました。

- このような一時的な減益要因はあったものの、**運用資産の拡充や大型ファンドの組成を進めることで事業基盤を強化し、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを着実に進めた1年となりました。**

©TECRA

BALANCE SHEET

貸借対照表について

テクラウド TECROWD

（単位：千円）

資産の部　計	39,097,022
流動資産　計	**22,917,753**
現預金	2,599,988
棚卸資産	17,433,757
内 開発型ファンド	**17,433,194**
その他	562
その他流動資産	2,884,007
固定資産　計	**16,179,268**
有形固定資産	39,932
内 建設仮勘定(ファンド)	**0**
その他	39,932
無形固定資産	167,822
内 借地権（ファンド）	**167,719**
その他	103
投資その他の資産	15,971,513
内 賃貸等不動産（ファンド）	**15,628,746**
同減価償却費	**▲312,481**
その他	655,247

負債･純資産　計	39,097,022
負債の部　計	**37,414,868**
流動負債　計	**2,043,438**
1年以内返済予定長期借入金	94,173
その他流動負債	1,949,264
固定負債　計	**35,371,430**
長期借入金	1,213,783
匿名組合出資預り金	**34,131,600**
その他固定負債	26,047
純資産の部　計	**1,682,153**
資本金	156,600
利益剰余金	1,495,553
その他	30,000

資産の部について

資産総額は約390億円となり、前期に比べてさらに規模が拡大しました。不動産クラウドファンディング事業の継続的な拡大に伴い、**キャピタルゲイン型ファンド用不動産（約174億円）や賃貸等不動産（約156億円）といったファンド関連資産が資産全体の大部分を占めています。**

負債・純資産の部について

負債の大部分は**匿名組合出資預り金約341億円**が占めており、ファンド事業の順調な拡大を反映しています。純資産は約16億円と、安定した水準を維持しています。

©TECRA

03

STRATEGY

事業戦略

REVIEW

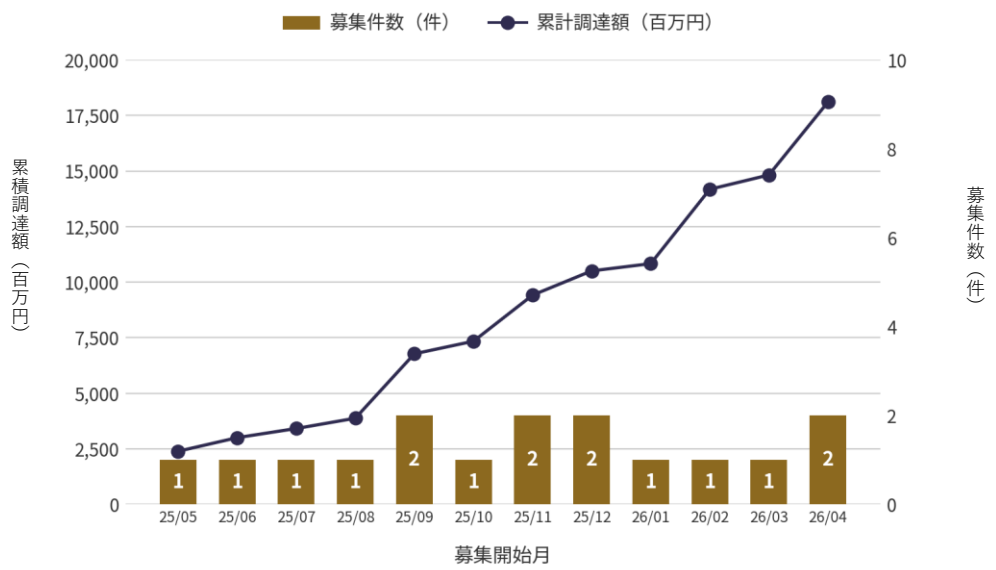
2026年4月期の振り返り（調達）

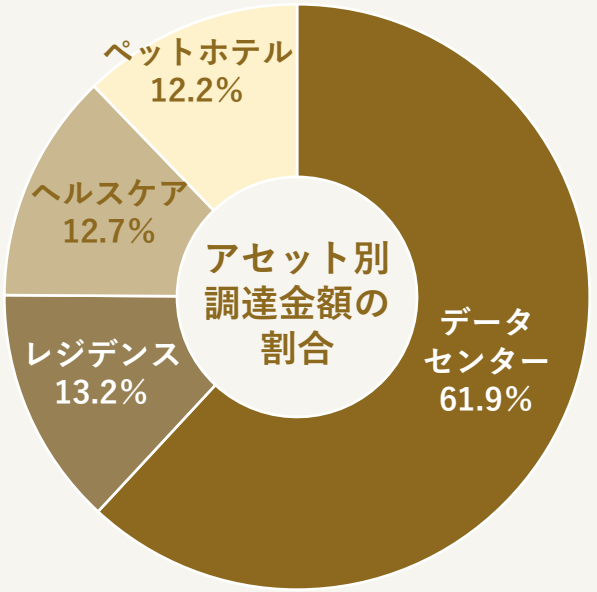
テクラウド TECROWD

振り返り

2026年4月期は、合計18,015百万円を調達しました。
当社初となるペットホテル案件を組成したほか、前期に引き続きデータセンター、ヘルスケア案件も堅調に推移しました。また、月1〜2本のペースで継続的にファンドを組成し、多様なアセットタイプを安定的に提供することができました。

各月の募集ファンド件数と累計調達額の推移





2026年4月期調達額

18,015百万円

2026年4月期調達ファンド数

16本

©TECRA

REVIEW

代表的なファンドの紹介（調達）

テクラウド TECROWD

TECROWD82号ファンド「猫専用個室ペットホテル　ねこべや港区芝店(仮称)」

プロジェクト概要

- 東京都港区芝に猫専用個室ペットホテルを建設し、運営会社へ賃貸して賃料収入を得るプロジェクト
- 鉄骨造5階建で51室の個室を備え獣医師が常駐。またトリミングサロンを併設

投資のポイント

- **ペット関連市場は拡大傾向にあり、2023年度のペット関連総市場規模は前年度比4.5%増の1兆8,629億円。2024年度は猫1匹あたりの年間支出は178,418円（前年比105.4%）と、猫の飼育頭数が犬を上回る中で市場の拡大が続いている。**
- **猫専用・完全個室型という独自性に加え、医療ケアやトリミング等のオプション提供とダイナミックプライシングの活用により、通常の宿泊単価の3〜5倍程度の収益化も可能なモデル。**
- **運用期間中に建物を建築し、竣工後に実績豊富な運営会社へ賃貸し、ペットホテルを運営。**

想定利回り	年利8.50%
運用期間	2025年7月1日～2027年6月30日（予定）
出資総額	613,000,000円（優先出資：582,300,000円、劣後出資：30,700,000円）

TECROWD85号ファンド「OME Data Center」

プロジェクト概要

- 東京都青梅市にて、AI推論に特化した次世代型エッジデータセンターを開発するプロジェクト
- 竣工後は運用期間終了までに土地建物を売却し、配当・元本償還を行う

投資のポイント

- **AI処理の中心がリアルタイム応答の求められる「推論」へ移行する中、ユーザーの近くで高速処理を行うエッジデータセンターの重要性が高まっている。**
- **都心から約45kmに位置し、低レイテンシ（遅滞の少ない）通信で都心と直結する好立地。**
- **武蔵野台地に位置し、水害・地震リスクが極めて低い、災害に強いエリア。**

早期償還について

建築工事が計画より順調に進み、稼働開始を前倒しできたことに加え、想定を上回る条件での売却先が確保できたため、当初予定を繰り上げ、2026年8月6日に元本償還・配当を実施。

利回り	当初想定年利11.50%⇒実績年利約16.08%
運用期間	2025年9月21日～2027年3月20日（予定） 2025年9月21日～2026年7月31日（実績）
出資総額	2,510,800,000円（優先出資：2,385,200,000円、劣後出資：125,600,000円）

©TECRA

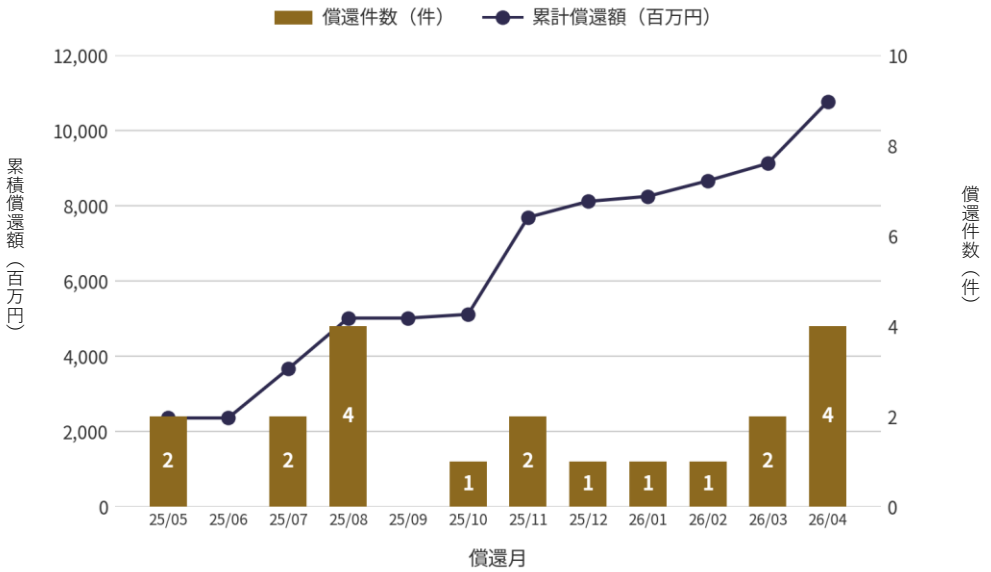
REVIEW

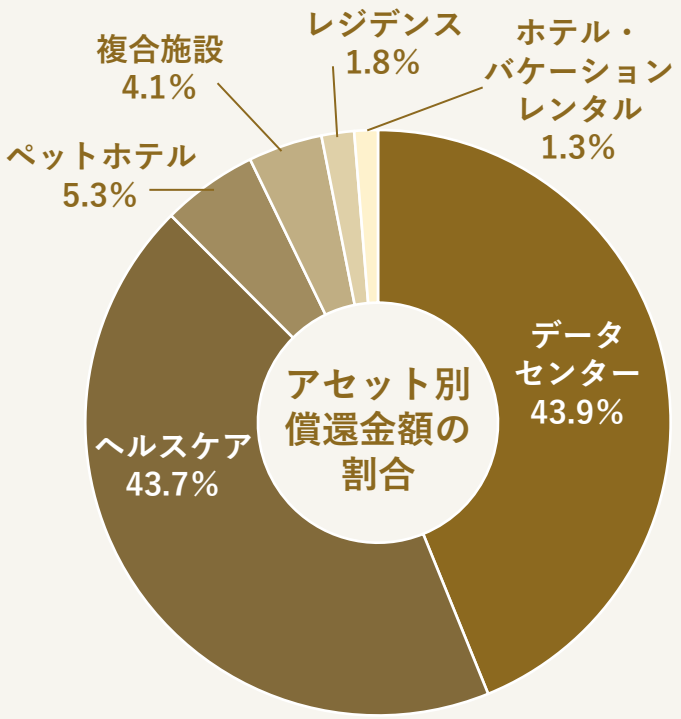
2026年4月期の振り返り（償還）

振り返り

2026年4月期は、計20本、合計10,769百万円のファンドの償還を実施しました。そのうち3本で実績年利回りが想定利回りよりも高い水準で着地しています。また、サービス開始以来の累計償還額は、2026年4月時点で25,000百万円を超え、投資家の皆さまからの信頼が着実に積みあがっています。

各月の償還ファンド件数と累計償還額の推移





2026年4月期償還額

10,769百万円

2026年4月期償還ファンド数

20本

©TECRA

REVIEW

代表的なファンドの紹介（償還）

テクラウド TECROWD

TECROWD83号ファンド「障がい者グループホーム AMANEKU川崎麻生B棟」

プロジェクト概要

- 神奈川県川崎市麻生区下麻生一丁目にて、障がい者グループホーム「AMANEKU川崎麻生B棟」を建設するプロジェクト
- 定員20名（1階男性10名・2階女性10名）の木造2階建てで、24時間365日の支援体制を整備した日中サービス支援型グループホーム

運用結果

- 竣工後に開業準備を行い、その後、運営会社へ売却。
- 運営会社の希望により、予定を早めて売却し、元本償還を実施。

利回り	当初想定年利10.00%→実績年利約10.27%
運用期間	2025年8月1日～2026年3月25日（早期償還）
出資総額	411,000,000円（優先出資：390,400,000円、劣後出資：20,600,000円）

TECROWD88号ファンド「OME Data Center#02」

プロジェクト概要

- 東京都西多摩郡にて、AI推論に特化した次世代型エッジデータセンターを開発するプロジェクト
- 運用期間中にデータセンターの設計・建築確認取得を行ったうえでデータセンター用地として売却し、償還・配当を行うファンド

運用結果

- データセンター建設に向けた設計・建築確認の取得、旧建物の解体および造成工事までを完了したうえで、当社が新たに組成する「TECROWD95号ファンド『OME Data Center#02 phase2』」へ対象不動産（土地）を売却。
- 運用終了予定日を当初の2026年5月10日から2026年4月20日に繰上げ、2026年4月30日に元本償還および配当金の支払いを実施。

利回り	当初想定年利12.00%→実績年利約13.60%
運用期間	2025年11月11日～2026年4月20日（早期償還）
出資総額	675,000,000円（優先出資：641,000,000円、劣後出資：34,000,000円）

©TECRA

THANKS

代表挨拶

平素よりTECROWDをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当期（2026年4月期）は、当社にとって節目の1年となりました。
2026年3月には、当社サービスの提供価値を改めて見直し、「社会や投資家に新たな行動のきっかけを生み出す存在であること」をブランドの核として再定義し、リブランディングを実施いたしました。
また4月には、サービス開始から5周年を迎え、累計調達額も600億円に迫る水準まで成長いたしました。

不動産クラウドファンディング業界では、一部の事業者において償還遅延が発生する事例も見られ、投資家の皆さまの不安につながりかねない状況にあります。こうした状況だからこそ、当社の姿勢がより一層問われていると考えております。
TECROWDはこれまで元本償還遅延・元本割れ・想定利回り割れは一度も発生しておりません。今後も、堅実な運用を徹底してまいります。

引き続き、皆さまの信頼にお応えし、安心してご利用いただけるサービスの提供を目指すとともに、不動産クラウドファンディング市場を牽引する存在となるべく、尽力してまいります。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

TECRA株式会社 代表取締役社長　新野 博信